

研究課題名	急性肝障害の実態と臨床経過に関する観察研究
研究の意義・目的	本研究は、急性肝障害の発症から転帰に至るまでの背景、原因、臨床経過、血液検査や画像検査の推移、治療法、肝臓および他臓器障害の予後を調査することにより、その実態を把握し、診断や治療効果に関連する因子を明らかにすることを目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2030 年 3 月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2007 年 1 月から 2025 年 3 月までに大阪公立大学医学部附属病院で急性肝障害の診断を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者基本情報：年齢、性別、診断名、既往歴、生活歴、輸血歴、身長、体重 ・急性肝障害に起因する肝関連症状（全身倦怠感、食欲不振、皮膚掻痒感、黄疸、腹水、胸水、浮腫、脳症、静脈瘤の悪化や破裂、腎不全等の症状）の発生状況 ・急性肝障害の転帰（生存、軽快、肝不全発生、死亡） ・血液検査結果：白血球数、白血球分画、赤血球数、Hb、Ht、血小板数、AST、ALT、T-bil、D-bil、γ-GTP、ALP、LAP、TP、Alb、BUN、Cre、UA、Na、K、Cl、Ca、NH₃、Fe、TIBC、フェリチン、T-cho、LDL-cho、TG、BS、HbA1c、亜鉛、BTR、IP、PT、APTT、AT-III、FDP、D dimer、HGF、IgM、IgA、IgG、IgE、抗核抗体、抗ミトコンドリア抗体、ヒアルロン酸、P-III-P、4 型コラーゲン 7S、M2BPGi、オートタキシン、FIB-4 index、ELF スコア、CK-18F、ALBI スコア、MELD スコア、Child-Pugh スコア、AFP、PIVKA-II、CA19-9、IgM-HA 抗体、HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、IgM-HBc 抗体、HBe 抗原、HBe 抗体、HBV-DNA、HB コア関連抗原、HCV 抗体、HCV-RNA、EBV-IgM、EBV-IgG、EBNA、CMV-IgM、CMV-IgG、C7-HRP、BNP、FT4、TSH ・血管造影検査：HVPG、閉塞肝静脈圧、自由肝静脈圧、右房圧、肺動脈圧 ・肝生検組織検査 ・上部消化管内視鏡検査 ・画像検査：胸部 X 線、心電図、心エコー、腹部エコー、エラストグラフィ、CT、MRI、MRE、FDG-PET、肝アシアロシンチグラフィ
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学で行います。</p> <p>【研究責任者】小谷 晃平</p>

個人情報の取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 担当者氏名：小谷 晃平 電話番号：(06) 6645-3905</p>